

長期ステロイド使用と再使用後の全身症状を経て季節性の頸部症状のみとなった成人アトピーの経過 (42 歳 男性)

症例 ID：001-40-TM2 | 記録日：2015 年 7 月 18 日

1. 診断・治療前経過

18 歳頃に乳頭部のかゆみへステロイド外用を開始し、その後は足、腕などへ症状が移るたび使用しました。26 歳頃には常に外用薬を携帯していました。

28 歳頃にステロイドを中止し、他院で約 10 年間の経過観察を受けましたが、30 歳代半ばに再使用しました。その後、松本医院を受診しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	18 歳頃からステロイド外用薬を使用し、28 歳頃に中止しましたが、30 歳代半ばに再使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	18 歳頃から断続的に長期間使用しました。
中止時期	松本医院での治療開始時期です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
18 歳頃	外用開始	乳頭部のかゆみにステロイド外用を開始しました。
18～26 歳頃	症状反復	足・腕などへ症状が移り、発症間隔が短くなりました。
28 歳頃	脱ステロイド	外用薬を中止し、約 1 年後に強い症状のピークを越えました。
30 歳代半ば	再使用	仕事上の負担からステロイドを再使用しました。
2011 年頃	治療開始	松本医院で煎じ薬、漢方入浴、外用処置を開始しました。
治療約 3 か月	大きな変化	強い皮膚症状が落ち着き始めました。
治療約 2 年以降	経過中	涼しい季節はほとんど症状がなく、5～9 月に頸部症状が出る程度となりました。

4. ピーク時期

ピークは、28 歳頃のステロイド中止後に全身の強い症状が続き、3 か月の入院を含む療養が必要となった時期です。

5. 困りごと

- ・脱ステロイド期に長期療養と入院が必要でした。
- ・松本医院での治療初期には会社を 1 か月休み、1 日 4 時間程度の漢方入浴を続けました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。

時期	総 IgE
2011 年 5 月	2074
2011 年 9 月	3342
2012 年 3 月	3231
2012 年 9 月	3594
2013 年 1 月	2268
2013 年 6 月	2257
2014 年 7 月	1066

7. 経過のまとめ

治療約2年後には、10～4月の涼しい時期は症状がほとんどみられなくなりました。

暑い季節には頸部症状が残りましたが、総IgEは低下傾向を示しました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。